

# 御室小学校 沿革の概要

創立以前	京綴れ発祥の地 野々村仁清と弟子尾形光琳の弟、乾山所謂京焼きを仁和寺門前で作る。吉田兼好雙ヶ岡に庵を結び「徒然草」を著す（現 長泉寺） 寺子屋が中心（そのころの寺子屋は、仁和寺蓮華寺東側と妙心寺南門東側にあった）
明治 5 年	開校 京都府第三大学区第七中学校区葛野郡第十五小学校 橋本隆長宅購入（児童数 30 名）
6 年	校舎狭く洋式指導に不適なため移転 「御室小学校」と称す 所在地：皆明寺（蓮花寺不動本堂の辺り）の全堂宇の寄贈を仁和寺より受けた。
24 年	「御室尋常小学校」に改称
31 年	現在地西側半分に新築移転（御室堅町 20）
43 年	「御室尋常高等小学校」に改称（高等科併設）
大正 12 年	校舎大增築 現在の運動場に拡張（児童数 615 名）
昭和 3 年	校舎大增築 運動場南側拡張
16 年	「京都市立御室国民学校」に改称
6 年	「京都市立尋常御室小学校」に改称 教材園設置
9 年	当時北校舎桜木根元より倒れ、ほとんどの校舎の屋根瓦飛ぶ。毎年のように校舎増築
22 年	「京都市立御室小学校」に改称
23 年	御室小学校育友会結成
24 年	京都市立双ヶ丘中学校創設
26 年	現在の校歌制定
33 年	花園校分校独立（児童数 2, 751 名のため） 鉄筋校舎へ大改造（34～43 年）
38 年	プール建設
45 年	御室小学校筋ジストロフィー症児学級を国立療養所宇多野病院内に開設
48 年	宇多野校分離独立（児童数 1, 728 名のため）
50 年	御室保育所・児童館設置
54 年	夜間照明設備整備 木造講堂取り壊し現在の管理棟へ
58 年	御室小学校 PTA に改称
61 年	清心館老朽化により撤去 そこに講堂兼体育館建設
平成 6 年	校区の仁和寺・龍安寺、世界遺産として登録される 新プール竣工 コンピュータ室にコンピュータ 21 台設置
11 年	北校舎トイレ改修 ふれあいサロン開設中校舎の大規模改修並びに耐震補強工事開始
15 年	二期制導入
17 年	北校舎・本館 耐震工事完了 KES 学校版「環境にやさしい学校」認定
18 年	校内 LAN 運用開始 普通教室冷房化工事完了
19 年 1 月	学校運営協議会設立
3 月	正門改修
10 月	放課後まなび教室開設
20 年 6 月	地域環境保全功績表彰（環境省）
20 年 5 月	5 年生長期宿泊自然体験学習（花背山の家・京北山国の家 4 泊 5 日）
22 年 3 月	5・6 年教室に電子黒板機能付きデジタルテレビ、普通教室にデジタルテレビ（50 インチ）設置
26 年 7 月	環境配慮型校舎長寿命化工事（27 年 3 月まで）
28 年	文部科学省委託事業 平成 28 年度「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」研究指定を受ける。
29 年	研究教科を算数科とする。 英語活動の時間を 3・4 年で 16 時間、5・6 年で 50 時間とする。
30 年	台風・大雨・地震による臨時休業（各 1 日） 授業時の正門・東門を閉門 「働き方改革」に向け、校務支援員配置。電話対応 19 時終了。 木曜日は全て 6 時間授業（高学年）とする。 英語活動の時間を 3・4 年で 30 時間、5 年 55 時間、6 年 60 時間実施。



## 校章について

江戸時代から名高い「御室の桜」  
御室校の校名にふさわしいものとして  
「御」を中心に桜で囲んだものです。

## 御室小学校

### 校歌

一  
双ヶ丘の 若草は  
光を求め  
根を張って  
強く正しく  
ひとり伸び行く  
嬉しさよ

迫田 周五 作詞  
高橋 半 作曲

二  
御室の里の  
小鳥たち

仲良く

空を飛びまわり

文の林に

今日もまた

明日の夢見る

楽しさよ

## 御室校区 周辺地図

